

## 2020 年度実施概要

学校名

与論町立 与論中学校

採択活動名

与論島の魅力 再発見 ～海に囲まれた島の過去・現在そして未来～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 与論の海を知る	1 年生	総合的な学習の時間
2. 与論の産業・観光・伝統芸能・生活文化・歴史を知る	2 年生	総合的な学習の時間
3. 与論の現状を知り、未来を創る	3 年生	総合的な学習の時間

取り組みの概要

**1 はじめに**

海洋教育推進の一年目である昨年度は、これまでの教育活動を海洋教育の視点から洗い出し、目的等を再構築する作業を中心に進めた。二年目の今年度は、他校種や地域関係機関との連携を深め、校内推進体制を確立し実質的な運営を行うなかで、海洋教育の充実を図り持続可能な海洋教育の推進を図っている。

**2 海洋教育の実際（例）****(1) 集団体験学習****① 海洋ゴミに関する講話・大金久海岸での清掃作業**

1 年生の体験学習において、海洋ゴミと海謝美(海岸清掃ボランティアグループ)の活動について、海謝美の代表に講話後、大金久海岸にて清掃作業を実施した。講話では、海洋ゴミの特徴や、海洋ゴミが引き起こす問題についての説明があった。また、海謝美の活動を通して、与論島のきれいな海を守る取組も紹介された。海岸清掃では、ゴミがどこから流れてきたのかを調べたり、マイクロプラスチックなどのゴミを拾ったりする生徒もおり、海洋ゴミに対して自ら責任ある行動を起こそうとする姿勢が見られた。

**② SUP・カヌー体験**

同じく集団体験学習において、B&Gスタッフの皆さんに協力いただき、SUP・カヌーの体験活動を実施した。海で安全に活動するためには救命胴衣が必要なこと、マリンシューズを着用することなど安全面に配慮することでより楽しく活動ができることを学ぶことができた。また、マリンスポーツの多様性の一端に触れ、海に親しみ大切にしようとする態度を育成することができる活動になった。

**(2) 郷土学習講話**

2 年生を対象に、郷土の魅力や課題を再発見するために、観光協会、産業振興課、NPO法人海の再生ネットワークよろんなどの代表の方を講師として郷土学習講話を行った。そのなかで、生徒は与論の海をはじめとする観光産業や農畜産業、与論の伝統芸能や生活文化・歴史について理解を深め、さらに抱えている課題について自分なりの解決策を模索しようとする姿勢をもつことができた。

**(3) レポート作成**

3年生では、総合的な学習の時間のまとめとして、これまで学んできたことをレポートにまとめている。夏季休業中には、サザンクロスセンターや民俗村などに出向いたり、海謝美の活動に参加したりして、各自でインタビューを実施し、郷土の魅力や課題をみつけ、与論島の将来について深く考える機会にしている。

### 3 おわりに

今年度は、昨年度実施した海洋教育の活動を、地域の人材活用を積極的に推進していくことによって、より充実した内容にすることができた。今後は、効果的で持続可能な海洋教育を推進していくためにも、小・中・高と系統性を踏まえ、海洋教育で育みたい能力と態度を整理しながら教育課程の編成を進めていきたい。